

(様式)

電気電子工学委員会 URSI 分科会小委員会の設置について

分科会等名： 医用生体電磁気学小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	電気電子工学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員、連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者
3	設置目的	電波科学の分野で、生体との関わりで様々な研究が展開されている。無線通信分野では携帯電話が爆発的に普及し、医学応用では MRI 装置の開発・実用化が目覚ましい成果をあげた。電磁界の安全性の問題は、リスクはあっても小さいとされるが、社会的に大きな関心を集めている。近年、家庭内の電磁調理器、商業・産業環境の RFID や EAS、ITS における ETS や磁気浮上式鉄道等、電磁界を利用した機器や装置が普及している。今後、到来するユビキタスネットワーク社会では電磁界利用がますます発展、普及し、安全・安心から研究の展開を図ることが期待され、人間生活と電磁界との両立性の確立が求められる。本分野は電気電子工学、情報学、医学、生物学など様々な分野と関わりを持ち、これら学問分野間の協調・連携が極めて重要である。従来、日本学術会議に設置された電気電子工学委員会の医用生体電磁気学小委員会 (K分科会) がこの役割を担い、国際的にも認知される活動を行ってきた。この活動を継承し、新体制下で更に発展させることを目的として、本小委員会の設置を提案する。
4	審議事項	1. 生体電磁気学の研究動向と今後の研究課題 2. 電磁界の医学応用の研究動向と今後の研究課題 3. 電磁界の生体効果・生体影響の知識の整理と評価 4. 国際電波科学連合(URSI) Commission K との協力 5. その他
5	設置期間	時限設置 年 月 日～ 年 月 日 常設
6	備考	